

平成28年度 教育委員会
自己点検・外部評価報告書

平成29年3月

香南市教育委員会

目次

点検及び評価の概要	1
自己点検及び評価の構成	2
平成 28 年度実績評価一覧表	3
評価委員による意見（総括）	5
1. 教育委員会の活動	7
(1) 教育委員会の会議	7
(2) 教育委員会と事務局との連携	7
(3) 教育委員の自己研鑽	8
(4) 支援・条件整備	8
(5) 広報・情報公開	9
教育委員会の活動に対する意見	1 1
2. 教育委員会が管理・執行する事務	1 2
(1) 香南市教育行政の基本方針を定めること	1 2
(2) 学校その他の教育機関の設置、廃止及び変更に関する事	1 2
(3) 教科用図書採択及び教材使用に関する事	1 2
(4) 教育委員及び事務局職員の任免その他の人事に関する事	1 3
(5) 香南市立学校教職員の異動方針・異動に関する事	1 3
(6) 教育委員会の附属機関等の委員の委嘱に関する事	1 3
(7) 教育予算その他、議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	1 4
(8) 児童生徒の就学すべき学校の校区を設定し、又はこれを変更すること	1 4
(9) 教育委員会条例・規則等の制定又は改廃に関する事	1 4
(10) 議会の議決を経るべき議案の原案決定に関する事	1 4
(11) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条第 1 項の規定による点 検及び評価に関する事	1 4
教育委員会が管理・執行する事務に対する意見	1 5
3. 管理・執行を教育長に委任する事務	1 6
(1) 生きる力を育む就学前・学校教育の推進	1 6
① 保幼小中連携の推進	1 6
② これからの社会を生き抜く力を育む教育の推進	1 7
③ きめ細かな教育の推進	2 1
④ 安全な教育環境での教育の推進	2 3
⑤ 家庭や地域と連携した教育の推進	2 4
管理・執行を教育長に委任する事務に対する意見 (生きる力を育む就学前・学校教育の推進)	2 6
(2) 生き生きと学ぶ生涯学習の推進	2 7
① 生涯にわたり豊かな心を育む環境づくり	2 7
② 生涯にわたり親しみ高めあうスポーツの振興	3 0
管理・執行を教育長に委任する事務に対する意見 (生き生きと学ぶ生涯学習の推進)	3 1

点検及び評価の概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を実施することが義務づけられました。

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本方針のもと、教育長及び教育委員会事務局が広範かつ専門的な具体の教育行政事務の効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任があります。

このため、教育委員会の運営及び事務局の事務執行の状況について、学識経験を有する者の知見の活用を図りつつ点検評価を行うこととし、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

本報告書は、平成28年度香南市教育行政方針と対比し、方針に対しての達成状況を明確にすることで、具体的に達成状況が判断できるようにいたしました。

また、点検・評価は、客観性を確保するため学識経験者の意見・助言を受け、教育委員会で審議し、「平成28年度教育委員会自己点検・外部評価報告書」としてまとめ公表することとします。

自己点検及び評価の構成

1) 項目

自己点検・評価は、「1. 教育委員会の活動」、「2. 教育委員会が管理・執行する事務」、「3. 管理執行を教育長に委任する事務」の3つの大項目で構成し、必要に応じて細分化し、項目毎に点検・評価を行いました。

2) 目標

目標は、平成28年度香南市教育行政方針を基に目標を掲げました。

3) 取組の概要

各項目の目標達成に向けて、平成28年度に実施した主な取組を掲示しています。

4) 点検・評価の方法

点検評価にあたっては、平成28年度の施策の進捗状況や今後の課題等項目ごとに評価をし、ランク付けを行いました。評価の判断基準は次のとおりです。

評 価	判 断 基 準
5	目標を特別大きく上回る成果が得られた
4	目標を上回る成果が得られた
3	目標どおりの成果が得られた
2	一定の効果が上がっているが改善の必要がある
1	成果が得られず見直しの必要がある

5) 学識経験者の意見

点検・評価結果に対して、学識経験を有する方から評価、ご意見、ご助言をいただきました。

氏 名	役 職
中村 直人	高知工科大学教授

平成28年度 評価一覧表

大項目	中項目	小項目	点検 評価	評価委 員評価
1. 教活 育動 委 員 会 の	(1) 教育委員会の会議	① 開催状況	3	3
		② 運営上の工夫	3	3
	(2) 教育委員会と事務局の連携		3	3
	(3) 教育委員会の自己研鑽		3	3
	(4) 支援・条件整備	① 学校訪問・支援	3	3
		② 所管施設訪問・支援等	3	3
(5) 広報・情報公開		3	3	
2. 教す 育る 委事 員務 会 が 管 理 ・ 執 行	(1) 香南市教育行政の基本方針を定めること		3	3
	(2) 学校その他の教育機関の設置、廃止及び変更に関すること		3	3
	(3) 教科用図書採択及び教材使用に関すること		3	3
	(4) 教育委員及び事務局職員の任免その他の人事に関すること		3	3
	(5) 香南市立学校教職員の異動方針・異動に関すること		3	3
	(6) 教育委員会の附属機関等の委員の委嘱に関すること		3	3
	(7) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること		*	*
	(8) 児童生徒の就学すべき学校の校区を設定し、又はこれを変更すること		3	3
	(9) 教育委員会条例・規則等の制定又は改廃に関すること		3	3
	(10) 議会の議決を経るべき議案の原案決定に関すること		3	3
	(11) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号） 第27条第1項の規定による点検及び評価に関すること		3	3
管教す 理育る ・長事 執に務 行委 を任	(1) 生きる力を育む就 学前・学校教育に関する こと	① 保幼小中連携教育の推進	/	/
		保幼小中連携教育の推進	4	4
		② これからの社会を生き抜く力を育む教育の推進	/	/
		就学前教育の充実	3	4
		確かな学力の育成	3	3
		豊かな心の育成	3	3
		人権教育の推進	3	3
		健やかな体の育成と健康の増進	3	3

	特別支援教育の推進	3	3
	③ きめ細かな教育の推進		
	教職員の専門性・指導力の向上	3	3
	保育所・学校運営の充実	3	3
	生徒指導の充実	3	3
	教育相談・支援体制の充実	3	3
	就学・就園支援の推進	3	3
	④ 安全な教育環境での教育の推進		
	防災教育等の推進	3	3
	保育所・幼稚園・学校の環境整備	3	3
	⑤ 家庭や地域と連携した教育の推進		
	子どもが育ちやすい地域コミュニティの再構築	3	3
	家庭の教育力の向上	3	3
	放課後の子どもの生活・学習支援の充実	3	3
(2) 生き生きと学ぶ生涯学習の推進	① 生涯にわたり豊かな心を育む環境づくり		
	生涯学習の推進	3	3
	学びの機会や場の充実	3	3
	人権を尊重する社会を築くための教育の推進	3	3
	文化の継承と振興	3	3
	心豊かでたくましい子どもを育成する体験活動 ・読書活動の推進	3	3
	② 生涯にわたり親しみ高めあうスポーツの振興		
	運動・スポーツの推進	3	3
	スポーツ環境の充実	3	3

※評価・判断基準

5：目標を特別大きく上回る成果が得られた

4：目標を上回る成果が得られた

3：目標どおりの成果が得られた

2：一定の成果が上がっているが改善の必要がある

1：成果が得られず見直しの必要がある

評価委員による意見（総括・大項目ごとに記述）

総括

昨年度より香南市教育委員会の自己点検評価に関しては地方教育行政の組織及び運営に関する法律の理念に基づき、積極的に外部評価を行い、市の教育政策およびその実践の成果を客観的に評価することを試みたものである。前回評価書にも記述されているように、評価全体をたった一年の取り組みで全て科学的に遂行して行くのは困難であり、本来長期間かけて到達すべきことを考慮した上で、今年度は以下の部分を中心に行ったので、前提条件を説明しておく。

第一に、昨年度から継続した評価的特徴としては、これまで5年間に渡って香南市教育委員会が全体的に推進して来た政策のうち、最も重要な位置づけであった保幼小中連携プログラムの推進という観点を中心に、全体の課題を評価するという方法を採用したことである。これは、これまでの香南市教育の特質を評価しつつ、今後の方向を適切に推進するために特に重視した視点である。

第二に、今年度特に留意して評価した点は、外部評価者が学校およびそれ以外の教育現場を出来るだけ実際に訪問し、教育現場の教職員と客観的なデータを確認した上で実際の到達点や問題点について率直に話し合い、評価について相互に意見交換を行なった。昨年度は夜須中学校区を中心に行ったので、今年度は野市中学校区の視察を重点的に行なった。その中でも、教職員の年齢構成や教育年限のバランスからみた教育組織の全体像を評価することに力点をおいて現場との意見交換を行った。

第三に、できるだけ客観性を保持するために、数値的データは統計的に有意なものとなるような観点で検討し、また質的評価に関しては教育機関が実際に使用しているデータを現場で見せていただきながら、評価するように努めた。

これらの諸点を総合して、香南市教育委員会の平成27年度の自己点検評価を外部から第三者的にみると、以下のような特徴が指摘できる。

- 1) 教育政策の制定および実施については、昨年度とほぼ同様の到達段階である。具体的には、学力向上や、不登校や問題行動に対する対応、また地震等の災害対策等、多岐にわたる政策課題が山積する中で、特に教育振興基本政策の実施および保幼小中プログラムの推進について地道に歩みを続け、教育現場の意見を聞きつつ、課題に適切に対応し、また現場の理解を得ながら、一定の成果を上げて来たことが指摘できる。ただし、数値の検討はまだまだ改善の余地があるし、統計的に各学校レベルでのデータで科学的に把握できるレベルにはもう少し努力が必要である。特に教師が自信を持ってこれまでの政策実施を今後に生かして行くには、質的評価に関するデータが必要で、データの作成、収集および利用について改善の余地がある。連携政策の推進と、各データの中でも、特に子どもの実態が質的に改善されているデータを明示できるような努力が求められている。
- 2) 学校教育に比較して生涯学習の分野においては、具体的な政策目標の設定

が遅れ気味であり、全体的な推進体制の構築が求められていたが、平成26年度中に生涯学習の委員会を立ち上げ、年度内に政策目標も設定され、推進体制が整ってきたが、具体的な実施や進展が待たれるところである。特に数値目標や、地域格差の解消すべき課題が昨年同様残っている。

- 3) 特に、学校や教育機関を円滑に運営するためには、教職員の年齢構成や教育経験をバランス良く配置する点が重要であり、今年度は野市中学校地区を中心に学校現場と対話しつつ、評価を行った結果、大規模校である野市中学校と野市小学校では一定程度バランスが取れているが、それ以外の学校や教育機関では、年齢および経験等にアンバランスが見られた。本中学校区以外でも同様な状況が見られる。高知県全体の教育者の年齢構成や経験値に一定のアンバランスがあることは周知の通りで、これは香南市だけの問題ではないが、委員会は現場の課題状況に応じて全体配置を科学的に再分析する必要がある。
- 4) 次に、昨年度も評価の全体像についてプロセスから評価までを一貫して見直す方法を提示したが、今年度はさらに続けてより具体的な改善点を指摘しておきたい。それは、教育委員会の外部評価を行うところから、いずれの地方の委員会も自らの活動実態に応じて評価項目を設定し、その項目に応じて評価をしていることを、政策実態に応じた評価に変更するということである。例えば、市の教育振興基本計画を10年ごとの到達度で見るのであれば、中間点の5年目までにはどこまで到達させ、単年度ではどの目標値に合わせて評価するのかという具合に、政策ごとに評価を行い、必要に応じて教育委員会の活動内容を変化させていくべきである。この点改善の余地があろう。加えて、経年比較の評価も入れるべきであろう。単年度では、評価が難しい課題も有り、1年単位では功を奏していなくとも、5年ごとの中期目標や、10年ごとの長期目標値としては達成しつつあるかもしれない。このような評価は、教育振興基本計画が定まってしっかり実施体制を取っている香南市にこそ、適用されるべきである。
- 5) 昨年度に引き続き、個別の評価小項目については、下記の項目に沿って詳細を記述するスタイルを採用した。

開かれた教育行政をめざして

1. 教育委員会の活動

[目標]

1. 開かれた教育行政の充実に努める。
2. 教育委員会、事務局、学校その他の教育機関との連携を密にし、情報意見交換を積極的に行い、円滑な教育行政の推進に努める。
3. 教育委員としての自覚を持ち、研修に努め、重要かつ基本的な事務処理を適切に行う。

(1) 教育委員会の会議

① 開催状況

会議名	回数	議案件数	報告件数
定例会	12回	53件	9件
臨時会	2回	48件	2件
計	14回	101件	11件

点検評価	委員評価
3	3

② 運営上の工夫

議案・資料を会議1週間前までに受取り、内容を事前に確認し、積極的な意見交換が行えるよう努めるとともに、余裕のある会議時間を設定し十分な審議が出来るように努めた。

点検評価	委員評価
3	3

(2) 教育委員会と事務局との連携

適宜、協議や意見交換を行いながら、一層の連携が図れるよう努めた。市教委主催の研修会や講演会に積極的に参加し、事務局職員との連携を深めた。

点検評価	委員評価
3	3

(3) 教育委員の自己研鑽

研修会への参加や時報「市町村教委」を定期購読し、自己研鑽に努めた。

開催日	内 容	場 所
H28. 11. 17 ～ H28. 11. 18	市町村教育委員会研究協議会 『厳しい環境にある子どもたちへの支援』 『校種間の連携・協働の推進』 『防災教育について』 各県からの事例発表・研究協議	高知県立県民文化ホール 三翠園 高知会館
H29. 1. 13	高知県新任市町村教育委員・教育長合同研修会 『高知県教育委員会の教育施策について』 『これからの世の中で輝くために－なぜ英語を勉強するのか－』	高知会館
H29. 2. 10	高知県市町村教育委員会連合会定期総及び研修会 『教育の不易と流行～社会につながる学校教育の推進～』	高知会館

点検評価	委員評価
3	3

(4) 支援・条件整備

①学校訪問・支援

計画訪問を、市内すべての公立保育所、幼稚園及び小・中学校で実施し、学校等の経営や教育・保育内容に対する助言・指導を行うとともに、課題解決に対する支援を行った。

訪問日	保育所名
H28. 6. 16	佐古保育所
H28. 7. 21	野市保育所
H28. 7. 22	香我美おれんじ保育所
H28. 9. 2	赤岡保育所
H28. 9. 6	吉川みどり保育所
H28. 10. 5	夜須保育所
H28. 10. 12	野市東保育所

訪問日	幼稚園名
H28. 6. 9	のいち幼稚学園
H28. 6. 13	野市幼稚園
H28. 7. 6	夜須幼稚園
H28. 9. 21	野市東幼稚園
H28. 10. 19	香我美幼稚園

訪問日	小学校名
H28. 6. 3	野市東小学校
H28. 6. 17	佐古小学校
H28. 6. 23	夜須小学校
H28. 6. 28	野市小学校

訪問日	小学校名
H28. 6. 29	香我美小学校
H28. 6. 30	吉川小学校
H28. 7. 4	赤岡小学校
H28. 10. 13	岸本小学校

訪問日	中学校名
H28. 5. 18	野市中学校
H28. 6. 1	夜須中学校
H28. 6. 3	香我美中学校
H28. 10. 6	赤岡中学校

点検評価	委員評価
3	3

②所管施設訪問・支援等

所属施設の入学・入園式、卒業・卒園式、運動会等での告辞・祝辞及び行事参加等を実施した。

教育支援センター森田村塾の訪問を実施し、不登校児童生徒に関する支援を行った。

点検評価	委員評価
3	3

(5) 広報・情報公開

広報「こうなん」による情報発信を行った。

掲載月	内 容
4月号	香南市美術展覧会 卒業式 就学援助のお知らせ としょかんナビ 香南市制施行・合併10周年記念式典

5月号	一年生になりました。入学・入園おめでとう 教育行政方針 としょかんナビ
6月号	子育てガイドブック・ウェブサイト エンジョイスポーツ としょかんナビ
7月号	としょかんナビ
8月号	香南いきいきセミナー 教育チャンネル
9月号	香南市小学校水泳記録会 エンジョイスポーツ としょかんナビ
10月号	きょういくチャンネル 幼稚園・保育所申込みのご案内 としょかんナビ
11月号	香南いきいきセミナー 幼稚園・保育所申込みのご案内 エンジョイスポーツ としょかんナビ
12月号	声優にチャレンジ 香南いきいきセミナー 児童クラブ申込みのご案内 エンジョイスポーツ としょかんナビ
1月号	夜須はーと児童クラブ申込みご案内 入学通知書のお知らせ エンジョイスポーツ としょかんナビ
2月号	エンジョイスポーツ としょかんナビ
3月号	香南の文化力 としょかんナビ

点検評価	委員評価
3	3

教育委員会の活動に対する意見

この項目は（１）教育委員会の会議、（２）教育委員会と事務局との連携、（３）教育委員の自己研鑽、（４）支援・条件整備、（５）広報・情報公開の５項目で評価した。

教育委員会の会議の開催数や内容、また政策実施のための事務局との連携の取り方、教育委員の自己研修、条件整備の実施や情報公開については、全般的に適切に行なわれており、良好な評価を与えられる状況であった。

良好な評価を前提として、さらなる改善点を若干指摘しておきたい。全体評価でも一部述べたが、今後は委員会の活動を政策実施項目に沿って評価するように努めることが望ましい。またこれらの項目は、データに沿って評価が行われることと、政策実施目標によっては経年評価を入れることも合わせて考慮されたい。

心豊かに生きぬける教育の確立をめざして

2. 教育委員会が管理・執行する事務

[目標]

議案を研究・精査し、適切な処理に努める。

(1) 香南市教育行政の基本方針を定めること

香南市教育振興基本計画に基づき「平成28年度教育行政方針」を定めた。

点検評価	委員評価
3	3

(2) 学校その他の教育機関の設置、廃止及び変更に関すること

平成28年度は、当該案件はなかった。

点検評価	委員評価
*	*

(3) 教科用図書の採択及び教材使用に関すること

平成28年度は、当該案件はなかった。

点検評価	委員評価
*	*

(4) 教育委員及び事務局職員の任免その他の人事に関すること

教育委員会の意向を反映した人事配置がなされた。

- ・香南市教育委員長の選挙について (平成28年第6回教育委員会)
- ・香南市教育委員長の職務代理者の指定について (平成28年第6回教育委員会)
- ・平成29年4月1日付け香南市立保育所・幼稚園職員の人事異動方針について (平成29年第4回教育委員会)
- ・平成29年4月1日付け香南市教育委員会事務局職員の人事異動方針について (平成29年第5回教育委員会臨時会)

点検評価	委員評価
3	3

(5) 香南市立学校教職員の異動方針・異動に関すること

高知県教育委員会及び香南市教育委員会の異動方針に基づき配置がなされた。

- ・教職員の人事異動について (平成29年第4回教育委員会定例会)

点検評価	委員評価
3	3

(6) 教育委員会の付属機関等の委員の委嘱に関すること

担当課からの推薦等に基づき、教育委員会で審議し配置がなされた。

- ・野市町史(続編)編さん委員会委員の委嘱・任命について (平成28年第6回教育委員会定例会)
- ・香南市就学指導委員会委員の委嘱・任命について (平成28年第6回教育委員会定例会)
- ・香南市教育振興基本計画推進協議会委員の委嘱・任命について (平成28年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市小中学校食育推進検討委員会委員の委嘱・任命について (平成28年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市外国語教育コア・エリア推進会議委員の委嘱・任命について (平成28年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市放課後子どもプラン運営委員会委員の委嘱・任命について (平成28年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市立幼稚園における学校評議員の委嘱について (平成28年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市立保育所における学校評議員の委嘱について (平成28年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市立小中学校における学校評議員の委嘱について (平成28年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市土曜日等授業実行委員会委員の委嘱について (平成28年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市社会教育委員の委嘱について (平成28年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市生涯学習施設運営審議会委員の委嘱について (平成28年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市教育研究所運営委員会委員の委嘱・任命について (平成28年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市社会科副読本等編集委員会委員の委嘱について (平成28年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市コミュニティ・スクール設置推進委員の委嘱について (平成28年第8回教育委員会定例会)
- ・香南市図書館協議会委員の委嘱について (平成28年度9回教育委員会定例会)
- ・香南市スポーツ推進審議会委員の委嘱について (平成28年第10回教育委員会定例会)
- ・香南市外国語指導助手業務委託業者選定委員会委員の任命について (平成28年第12回教育委員会定例会)
- ・香南市教育振興基本計画検討委員会委員の委嘱・任命について (平成28年第13回教育委員会定例会)

点検評価	委員評価
3	3

(7) 教育予算その他、議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること

平成28年度は、事務局提案以外で市長に申し出の案件がなかった。

点検評価	委員評価
*	*

- (8) 児童生徒の就学すべき学校の校区を設定し、又はこれを変更すること
香南市立小中学校及び幼稚園の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について
(平成29年第3回教育委員会定例会)

点検評価	委員評価
3	3

- (9) 教育委員会条例・規則等の制定又は改廃に関すること
香南市教育振興基本計画推進協議会設置要綱の一部を改正する告示について他 件

点検評価	委員評価
3	3

- (10) 議会の議決を経るべき議案の原案決定に関すること
香南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について他 件

点検評価	委員評価
3	3

- (11) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第1項の規定による点検及び評価に関すること
- 平成27年度(平成27年度実績)教育委員会自己点検・外部評価報告書について
(平成28年第8回教育委員会定例会)
 - 平成28年6月香南市教育委員会ホームページに掲載・公表
 - 平成28年9月香南市議会全員協議会へ報告及び議会配布

点検評価	委員評価
3	3

教育委員会が管理・執行する事務に対する意見

教育委員会が管理・執行する事務に関する事項では、上記の 11 項目について評価を検討し、同様に昨年度を踏襲した項目で評価した。

これらの項目では、全般に教育振興基本政策に基づき、適切に政策が執行されており、教育現場の理解と協力を得ながら、事務局との関係も良好に築きながら実務を遂行していることは高く評価される。

ここでも昨年度の指摘と同様に、政策項目でも詳細な数値による評価をもう少し綿密に推進する余地が残されているし、前年度との比較や今後考慮に入れる経年評価を考えると、改善すべき課題は残されている。また、他の案件と同様であるが、委員会活動に沿って行われている事項分類を、政策実施と経年および単年度目標値に沿って組み替えることを今後検討すべきであろう。

3. 管理・執行を教育長に委任する事務

(1) 生きる力を育む就学前・学校教育の推進

1) 保幼小中連携教育の推進

重点目標

○保幼小中連携教育の推進

[取組の概要]

●保幼小中連携教育の推進

○中学校区連携推進研究事業の実施（全中学校区）

○香南市保幼小中連携（一貫）プログラム〔改訂版〕の推進・活用

○市広報誌「教育チャンネル」及び香南市教育委員会HPで、市の教育についての周知

- ① 「香南市保幼小中連携カリキュラム」及び「香南市保幼小中連携（一貫）プログラム」に基づく保幼小中連携（一貫）教育を推進し、子どもたちが保育所・幼稚園から小学校へ、小学校から中学校への接続を円滑にするとともに、コミュニケーション能力、規範意識、自尊感情を高めるよう努めた。
- ② 香南市保幼小中連携子育て・教育推進事業（9の事業）のねらいに沿った取組を計画的に進めた。
- ③ 香南市保幼小中連携子育て・教育推進事業の進行管理・指導、成果・課題等を協議し、子育て・親育ちの推進を図った。
- ④ 子どもたちの基本的な生活習慣や自己肯定感等、人としての素養を育成するとともに、併せて親として望ましい子育てを支援していくための「みんなで育てよう香南っ子！」ポスターを作成し、子育てについて啓発を行った。
- ⑤ 小学校5、6年生へ専科制や授業相互乗り入れを実施し、小中学校を通じた連続性のある教育を行い、学力問題や生徒指導諸問題の解消に努めた。
- ⑥ 香南市教育研究所を中心に、学校と連携した効果的な授業研究や校内研修を推進するとともに、教職員を対象に保幼小中・家庭・地域連携（一貫）教育に関するアンケート調査を実施した。
- ⑦ 夜須中学校区の保幼小中で夜須中学校区連携（一貫）推進事業に取り組んだ。

【成果】

○ アンケート結果より

「中学校に入学することで楽しみにしていることがありますか」の質問項目において「ある」と答えた児童が昨年度と比較して増加した。また、「中学校入学にあたり、心配なことはありますか」との質問項目において「ない」と答えた児童についても増加した。（市内全小学校6年生へのアンケート）

小学校では「自尊感情」を表す全ての項目で、昨年度から上昇の傾向が見られ、「規範意識」についても、ほとんどの項目で上昇している。中学校でも「自尊感情」の項目で見られた。（道徳意識調査でのアンケート）

また、夜須中学校校区の保護者対象のアンケートでは、ほとんどの保護者が保幼小中

一貫教育に肯定的である。

- 中学校区連携部会では、中学校区ごとの課題に応じた合同研修、合同授業研を行うことが増え、連携の資質向上が図られた。

点検評価	委員評価
4	4

2) これからの社会を生き抜く力を育む教育の推進

重点目標 ○就学前教育の充実 ○確かな学力の育成 ○豊かな心の育成 ○人権教育の推進 ○健やかな体の育成と健康の増進 ○特別支援教育の推進

[取組の概要]

●就学前教育の充実

- 職員研修会の開催、園内研修、公開保育の実施支援
- 乳児保育の実施、障害児等の受入れ、看護師の配置、家庭支援推進保育士の配置、保護者支援相談員の配置
- 子育て支援センター、園庭開放、一時預かりの実施
- 専門コーディネーターの配置

- ① 県へ職員（1名）を派遣し、保育士及び幼稚園教諭の資質・専門性の向上を図った。
- ② 日常的な学校経営や保育所・幼稚園経営に係る諸問題について研修を深め、その望ましい解決策等を探り、管理職としての経営能力の向上を図った。
副所属長研修（4回、51名）4～1月 H27（2回、30名）
- ③ 保育及び幼稚園教育の中核を担う中堅教職員に対して研修を実施し、保育所及び幼稚園の質的向上及び次期管理職の育成を図った。
中堅保育士研修（3回、61名）4～1月 H27（3回、48名）
- ④ 保育所・幼稚園に保護者支援相談員を配置し、さまざまな悩みや課題を持つ保護者に対する子育て相談・指導などを行い、子育て支援に努めた。
- ⑤ 就学前の子どもがいる保護者に対して、市内5ヵ所の子育て支援センターにおける子育て・親育ち講演会の開催や、市内全域を対象とした講演会を開催し、親として望ましい子育てを支援した。
子育て支援センターでの育児学級等講習会（11回、557家庭）4～1月
H27（42回、382家庭）
香南市子育て親育ち講演会（1回、64名） H27（1回、87名）
- ⑥ 県指定のブロック別研修会を指定保育所で13回、フォローアップ研修を1幼稚園で

10回行い、年間を通した研修により職員の資質向上に努めた。

H27 ブロック別研修会 8回
フォローアップ研修 10回

【成果】

- 年間を通した研修会実施により前回の学びに次の学びを積み上げるなかで、園内で成果と課題を共有し組織で保育を作る意識の高まりと保育者・教職員の質の向上となった。
- 県指定のブロック別研修及び次年度のフォローアップ研修を行い、香南ブロックにおける主体的な実践研修のためのネットワーク化の推進とミドルリーダーの育成に努めた。また、園の組織力アップを図り保育者の資質向上と保育の充実につながった。

点検評価	委員評価
3	4

●**確かな学力の育成**

- 学習到達度調査の実施（小学校2年～中学校3年）
 - 学習意識調査の実施（小学校3～5年・中学校1～2年）
 - 全国学力・学習状況調査の実施（小学校6年・中学校3年）
 - 高知県学力定着状況調査の実施（小学校4～5年・中学校1～2年）
 - 放課後学習室の設置
 - 「香南市チャレンジ塾」の設置
 - 香南市教育研究会の開催
 - 学力向上のための学校経営力向上支援事業の実施
中学校組織力向上のための実践研究事業（野市中）【県指定事業】
 - 探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業（学校図書館活用型）（赤岡小）
【県指定事業】
 - 教育課程拠点校事業（国語科）の実施（野市小）【県指定事業】
 - ICT活用に係る実践的研究事業（野市東小）
 - ICT支援員の配置
 - 専科講師の配置
 - 生活・学習支援員の配置
- ① 子どもたちが学習の意義や大切さに気づき、自ら進んで取り組み、考え行動できる学習活動を推進するため「できる・わかる・楽しい授業」の取組を全校で行った。
 - ② 到達度把握調査（標準学力調査）を小学校2年から中学校3年まで実施し、結果分析をするとともに、分析に基づく授業改善に努めるよう指示した。
 - ③ 各小中学校の実態に応じて非常勤講師、生活・学習支援員を配置し、複数の教員による児童生徒一人ひとりに応じた少人数指導の授業、専科の教員による専門性の高い授業を行った。（非常勤講師4名、生活・学習支援員7名）
 - ④ 高知県教育委員会の指定事業として教育課程拠点校指定事業（野市小学校）、中学校学力向上推進校（野市中学校）、ことばの力育成プロジェクト推進事業（赤岡小学校・赤

岡中学校)に取り組んだ。

- ⑤香南市外国語教育コア・エリア推進会議を年間6回開催し、小中学校における小小連携・小中連携による小・中学校の英語教育の充実を図った。
- ⑥外国語指導助手(A L T)の活用により、それぞれの発達段階に応じた外国語指導の充実と異文化理解を促進した。
- ⑦ 赤岡中学校、野市中学校、香我美中学校の生徒を対象にチャレンジ塾を実施した。
- ⑧ 教育課題のある学校に対して生活・学習支援員を配置し、学力問題や生徒指導諸問題の解消に努めた。
- ⑨ 香南市ICT活用実践指定に係る研究発表会、香南市ICTスキルアップ研修会を2回実施しICT機器の利活用を考え、授業づくりの取り組みを進めた。

【成果】

- 平成28年度全国学力・学習状況調査では、小学校は国語A B・算数A Bは全国平均を上回り、国語Bは全国平均を少し下回っている。中学校では国語A B・数学A Bともに全国平均を下回った。
- ICT機器の導入については、東小学校に電子黒板(4年生以上)及び大型モニタ(4年生以下)を導入し、書画カメラ及び教師用PCを各教室に設置した。先生方も積極的に機器の効果的な活用について研究を進めた。
- 15歳の出口を見据えた学力の定着に向けて、どのような力をつけるのか共通認識することができた。

点検評価	委員評価
3	3

●豊かな心の育成

- 道徳意識調査、チェックシートの実施(小学校1年~中学校3年)
- 学校図書館支援員の配置
- 副読本「香南のくらし」研修会及び編集委員会の開催

- ① 道徳教育担当者会を開催し、各校の道徳推進教師を中心にして、学校における道徳教育の推進体制や道徳の時間における指導の充実を図った。
- ② 道徳意識調査及びチェックシートを実施し、自尊感情や生活習慣、人間関係や規範意識、それぞれの高まり具合を継続的に調べ取り組みの指標とした。
- ③ 学校図書館支援員を小中学校に配置し、読み聞かせ、読書環境の整備、貸し出し業務などを行い、子どもたちが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力と創造力を豊かなものにする読書活動を推進した。
- ④ 社会科副読本「香南のくらし」を活用して地域のくらしや歴史、文化について知識や経験を深める教育を推進した。

【成果】

- 香南市内全小中学校で取り組んだ道徳教育地域連携事業の成果を受け継続的に市ぐるみで授業改善の取り組みを進めたことにより、道徳の時間への意識が高まり、教師自

身の苦手意識が軽減された。また、継続して講師招聘や校種間の連携をとることで、発達段階に応じた発問の設定や資料解釈ができ、めざす道德の授業について研修を深めることができた。

- 「香南のくらし」については、本年度テストワークの改訂を予定していたが、昨年度から継続して作業を行っている第3版の改訂に予想以上の時間がかかり、実質2本のプログラムの作業を行うこととなった。結果、昨年度と今年度の世話役の方々には大変ご苦勞をかけたが、編集委員は改訂作業を行うことで教材理解へつなげることができた。

○ r

社会科副読本「香南のくらし」の作成にあたって小学校教諭が編集委員となり、作業を行うことで教材開発力や分析力の向上につながった。作業も計画通り進み、第3版を製本化することができた。

点検評価	委員評価
3	3

●人権教育の推進

○香南市人権課及び香南市人権教育研究協議会との連携

- ① 自尊感情を高め、互いを認め合い支え合う共感的な人間関係づくりや、人権に関わる課題の解決をめざした、一人ひとりを大切にする人権教育に取り組んだ。
- ② 各学校において、人権教育年間計画を作成し、人権を基盤とした学校づくりに取り組んだ。
- ③ 香南市人権教育研究協議会へレポートを提出し、具体的な事例について話し合いを行った。

【成果】

- ほぼすべての保幼小中学校から具体的なレポートの提出があり、充実した研究大会の開催ができた。

点検評価	委員評価
3	3

●健やかな体の育成と健康の増進

○香南市小中学校食育推進検討委員会の開催

- ・学校の教育活動における食に関する指導の充実のための取組
- ・食習慣改善に向けた家庭への普及啓発のための取組
- ・地域と連携した食に関する意識向上のための取組

○食育講座・食育体験の実施

○運動あそび研修会への参加、親子ふれあいあそびの推進

○全国体力・運動能力、運動習慣調査の実施（小学校5年・中学校2年）

- 高知県体力・運動能力、生活実態等調査の実施
- 肥満傾向調査の実施（小学校1年～中学校3年）

- ① 家庭や地域と連携して「早ね 早おき 朝ごはん」など基本的な生活習慣の定着を図るよう取り組んだ。
- ② 発達段階に応じた適切な性教育や保健安全指導を行い、健康づくりにおける自己管理能力の育成を図るよう取り組んだ。
- ③ 望ましい食習慣の形成に向けた食指導や、市内全校で調理体験教室等を行い、食に関する意識啓発や調理技能の向上を図るとともに、地元食材を使った料理教室の実施などに取り組んだ。
- ④ 望ましい食習慣形成のため、香南市食育推進計画に則り、食についての指導の充実に努めた。
- ⑤ 保護者に献立表や給食だよりの配布及び給食試食会を実施し、望ましい給食への理解を得るよう努めた。
- ⑥ 栄養教諭等による、食物の働きや栄養指導及び正しい食事のマナーの指導など食育の推進に努めた。
- ⑦ 小学校5年生対象の朝食づくり教室、中学校2年生対象の弁当づくり教室を実施した。
- ⑧ 旬の食材等、生産者の心のこもった安心・安全な地場産品を積極的に取り入れ、バランスのとれた献立とリクエスト献立を実施した。
- ⑨ 小中学校食育推進検討委員会で栄養教諭が「子どもたちに伝えたい食に関するお話100選」を活用し、子ども達の食品や食文化に関する理解を深める取組を行った。

【成果】

- H2728 全国体力・運動能力調査では、体力合計点が中学校2年生男子・女子で全国平均を上回り、中学校男子においては全国平均を約5.5点上回る結果となった。小学校5年生男子・女子については、H28年度は前年度より下がっているが、H20年度からの変化を見てみると、小中ともに概ね上昇傾向にある。
- 市が設定する朝食作り等も定着してきた。また、学校独自で食育に関する取組を実施する所属所が増えた。

点検評価	委員評価
3	3

●特別支援教育の推進

- 高知大学特別支援教育コースへ特別聴講生として保育所・幼稚園職員を1年間派遣
- いきいき香南っ子相談事業の実施、専門相談員の配置
- 保幼特別支援担当者等研修会の開催
- 小中学校特別支援教育支援員等の配置
- 小中特別支援教育支援員等研修会の開催
- 小中不登校・特別支援等担当者会の開催
- 高知県における特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する実態調査の実施

- いきいき香南っ子相談事業の実施、専門相談員の配置
- 保幼特別支援担当者等研修会の開催

- ① 障害のある子どもたちに適切な指導が行えるよう、教育環境を整備し、特別支援教育支援員の配置や教職員研修を充実するなど支援体制を整えた。（研修会：2回）
- ② 関係機関と連携して適切な就学指導を進め、障害の種別と特性に応じた教育課程の編成を行い、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を進めた。
- ③ 効果的な通級指導のあり方を研究し、ADHD（注意欠陥／多動性障害）やLD（学習障害）などの子どもたちの特性に対応した教育を推進した。
- ④ 特別支援学校や専門機関との連携を進め、特別支援教育支援員を有効に活用しながら、一人ひとりの可能性を最大限に伸ばすことのできる取組を進めた。
- ⑤ 就学前から特別な支援を必要とする子どもへの適切な指導援助を行うため、専門コーディネーターを配置し、教職員の資質向上に取り組むとともに、効果的に子どもの成長発達を支援することに努めた。
- ⑥ 特別な支援を必要とする子どもに対する早期対応への取り組みとして「いきいき香南っ子相談事業」（就学前～小学校低学年対象）を実施した。
（相談33回、フォローアップ29回）4～1月
H27（相談26回、フォローアップ25回）
- ⑦ 特別支援保育専門職員を育成するために、昨年度に引き続き高知大学（特別支援教育コース）へ保育士を1年間派遣した。

【成果】

- 相談会や研修会では実践的に学ぶことで保育者の資質向上が図られ、個別の指導計画など、計画的な特別支援保育・教育の取組となっている。
- 特別支援保育専門職員の研究成果からユニバーサルデザインに基づいた環境の構造化など、特別支援保育・教育における全ての子どもが「わかる」「できる」保育の重要性が広がりつつある。

点検評価	委員評価
3	3

3) きめ細かな教育の推進

<p>重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教職員の専門性・指導力の向上 ○保育所・学校運営の充実 ○生徒指導の充実 ○教育相談・支援体制の充実 ○就学・就園支援の推進

[取組の概要]

●教職員の専門性・指導力の向上

- 所属長会・副所属長会の開催
- 保幼所長園長会・小中校長会・保幼副所長教頭会・小中教頭会並びに研修会の開催
- 小中情報教育担当者会の開催
- 保幼小中連携担当者会の開催
- 小中外国語担当者会の開催
- 進路指導担当者会の開催
- 保幼研究主任会の開催
- 小中研究主任会の開催
- 全国学力・学習状況調査分析・研修会の開催
- 香南市教育研究会（就学前部会）（教科・領域等部会）（中学校区連携部会）の開催
- 香南市教職員総会の開催
- 中堅保育士等研修会の開催
- 高知県教育委員会事務局幼保支援課へ中堅若年職員を派遣

- ① 保幼小中がともに取り組むべき課題等について、各主任・担当者会を計画的に実施し、情報交換や指導・支援の在り方について共通理解を図った。
- ② 各小中学校の学校改善プランに基づく取組を指導・支援することで、授業研究を中心にした授業改善に取り組むとともに、東部教育事務所と連携し学校改善プランを検証することでPDCAサイクルを意識した教育活動に取り組んだ。
- ③ 市内保幼研究主任会の実施（3回）

【成果】

- 異校種で、学力向上に向けて具体的に話し合いをする中で中学校区で統一した取組について協議することができた。
- 中堅保育士として、自分の立場を自覚して自分の園を捉え直し取り組むことができるようになった。

点検評価	委員評価
3	3

●保育所・学校運営の充実

- 保育所評議員・学校評議員の配置
- 保育所評価・学校評価の実施
- 保育所評議員・学校評議員連絡会の開催

- ① 所属長会・副所属長会等において定期的な協議や研修を実施し、管理職としての経営能力の向上を図った。
- ② 保育所評議員・学校評議員の配置や、学校アンケート等の実施により、保育経営・学校経営に地域・保護者・児童生徒の意見や評価を取り入れ、子どもたちがより良い保育・学校生活を送れるよう、保育・学校運営の改善と発展に努めた。

また、市の教育方針や評価の視点等を確認し、情報交換や協議を行うための香南市保育所評議員・学校評議員連絡会を開催した。（1回実施）

【成果】

- 香南市評議員連絡会は、中学校区での話し合い、課題等を共有することができた。

点検評価	委員評価
3	3

●生徒指導の充実

- Q-Uアンケートの実施

- 補導員連絡会の開催

- 高知夢いっぱいプロジェクト推進事業の実施

- ・志育成型学校活性化事業推進校（野市中）【県指定事業】

- ・未来にかがやく子ども育成型学校連携事業（香我美中学校区）【県指定事業】

- 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸調査に関する調査の実施【国調査】

- 高知県生徒指導上の諸課題・児童虐待に関する調査の実施【県調査】

① 全小中学校全学年に対し、年2回のQ-Uアンケートを実施し、分析から児童生徒理解を深め、温かい学級・学校づくりに努めた。

② 生徒指導担当者会及び補導員連絡会で、生徒指導に係る情報交換や問題行動未然防止の取組についての研修等を実施した。

③ 高知夢いっぱいプロジェクト推進事業「志育成型学校活性化事業推進校」として、生徒が安心して過ごせ、夢や志、自信をもてる学校を実現するため、全ての教育活動の中に開発的な生徒指導の視点を位置づけた取組を組織的に進めた。（野市中学校）

【成果】

- 各校で講師を招聘してQ-Uアンケートに関する校内研修会を実施するなど情報の共有と児童理解に活用した。

点検評価	委員評価
3	3

●教育相談・支援体制の充実

- スクールカウンセラーの配置【県事業】

- ケース・カンファレンスの実施

- ほのぼの相談、こども相談等の実施

- スーパーバイザーの各校への派遣

- スクールソーシャルワーカーの配置（4名）

① 就学移行期にスマイルサポート支援ファイルを作成・活用し、関係者間の情報及び認識の共有化、保育所、幼稚園から小学校での教育支援の円滑な移行を図った。

② 子どもたちの大切な命を守ることを目的に、いじめや児童虐待に対応する校内体制

の整備と見直しを図り、絶えず子どもたちのサインを見逃さない取組と情報の共有化を進め、関係機関との連携をとりながら対応を強化するよう取り組んだ。

- ③ 各中学校に1名ずつSSWを配置し、子どもの居場所づくりを進め、全ての長期欠席児童生徒への支援をめざして、様々な態様を持つ不登校の子どもたちや保護者への支援や取組を行い、実態に応じたソーシャルワークができるよう学校との連携体制を構築すべく取り組んだ。(本年度SSWを2名増員し4名体制)
- ④ 就学前保護者対象の「こども相談室」小中学校保護者対象の「ほのぼの相談」を開設し、課題を抱える子どもと保護者の支援に取り組んだ。

【成果】

- 各校で特色のあるSCの活用ができた。
- 今年度2名体制で対応できたことで、児童クラブとの連携や保護者対応ができた。
- こども相談室：85件 4～1月 H27(86件)
ほのぼの相談：来所相談234件、電話相談155件、計389件
H27(来所相談295件、電話相談180件、計475件)

点検評価	委員評価
3	3

●就学・就園支援の推進

- 就学援助費の支給
- 特別支援教育就学奨励費の支給等

- ① 経済的な困難を抱える家庭の児童生徒に対する就園・就学に係る経費を支援した。

【成果】

- 支援件数271件

点検評価	委員評価
3	3

4) 安全な教育環境での教育の推進

重点目標
○防災教育等の推進
○保育所・幼稚園・学校の環境整備

[取組の概要]

- 防災教育等の推進**
- 防災アドバイザー派遣事業等の実施【県事業】
- 実践的防災教育推進事業の実施(吉川小)【県指定事業】

○緊急地震速報機及び避難タワー等を活用した避難訓練の実施

- ① 南海トラフ地震に備えて学校防災マニュアルを作成し、避難訓練などを実施し防災教育に取り組んだ。
- ② 安全に対して必要な条件整備を図り、事故や災害が発生した場合に備えての危機管理体制を整えるとともに、日頃からの危機管理マニュアルの周知徹底を図り、事故や災害に強い施設や環境の整備に努めた。
- ③ 家庭や地域及び関係機関との連携を密にし、児童生徒や保護者が安心して防犯に関する相談ができる体制を整備し、登下校時における犯罪被害の防止や不審者の校内侵入に対する安全確保の徹底に努めた。
- ④ 保護者や地域を巻き込んだ地域住民参加型の防犯体制を整え、子どもたちに対する犯罪の未然防止に努めた。
- ⑤ 県の指定事業として実践的防災教育推進事業（吉川小学校）に取り組み、研究発表会を通して成果を普及した。
- ⑥ 防災アドバイザー派遣事業を3小学校（佐古小学校、野市小学校、香我美小学校）で実施した。

【成果】

- 実践的防災教育推進事業等の実施により、防災意識の高まりにつながった。また、中学校区で避難訓練を実施したり、地域と一緒に防災訓練を実施したりするなど、特色のある取組ができた。

点検評価	委員評価
3	3

●保育所・幼稚園・学校の環境整備

- 非構造部材の耐震化工事
- トイレの洋便器化の改修工事
- 校舎大規模改修工事（香我美小）
- 幼稚園空調機整備事業

- ① 教育施設等の耐震化を促進するとともに、ゆとりや潤いのある保育・教育の場として、計画的な改修・改築に努め、施設・設備の充実に努めた。
 - ・非構造部材耐震化工事（香我美おれんじ保育所、赤岡保育所、吉川みどり保育所、野市中学校、香我美中学校）
 - ・トイレの洋便器化改修工事（吉川小学校、夜須小学校）
 - ・校舎大規模改修工事に伴う設計（香我美小学校）
- ② 新たなニーズに対応する教育施設を計画的に整備することに努めた。
- ③ 教育内容や指導方法の多様化に対応した教材・教具の整備充実に努めた。
- ④ 教育施設の遊具等について、定期的な点検、補修等を実施し、安全確保に努めた。
- ⑤ 空調機未整備の幼稚園保育室（野市幼稚園、香我美幼稚園）にエアコンを設置した。

【成果】

- 非構造部材の耐震化等、計画的な環境整備を実施した。
- 機器の導入については、全小学校にモニタテレビ及び書画カメラを設置した。
- 全ての保育所、幼稚園の保育室にエアコンが完備された。

点検評価	委員評価
3	3

5) 家庭や地域と連携した教育の推進

重点目標

- 子どもが育ちやすい地域コミュニティの再構築
- 家庭の教育力の向上
- 放課後の子どもの生活・学習支援の充実

[取組の概要]

●子どもが育ちやすい地域コミュニティの再構築

- 保育所評議員・学校評議員連絡会の開催
- 学校支援地域本部事業の実施（夜須中学校区・赤岡小・吉川小・野市東小）【県指定事業】
- 「土曜日等授業」実行委員会の開催及び土曜日等授業の試行実施（年3回）
- コミュニティスクール導入等促進事業の実施（赤岡小）

- ① 積極的な情報発信や学校評価の実施により、地域に根ざした特色ある学校づくりに努めた。
- ② 管内34カ所で学校支援地域本部事業に取組み、地域と連携した教育を推進するとともに、他地域にもその取組の成果を広げた。
(夜須中学校区、赤岡小学校、吉川小学校、野市東小学校)
- ③ 市内全小中学校で土曜日等授業（試行）を3回実施した。
- ④ こうなんファミリー・サポートセンターを開設した。

【成果】

- 学校支援地域本部事業の取組については、本年度1校増、平成29年度も1校増の予定。
- 事業に取り組んだ各学校は、それぞれに昨年度より取組が進んだ。
- 住民同士が協力して、子育てを支援する「こうなんサポートセンター」を開設し、仕事と育児の両立を支援し、地域で安心して子育てができる環境づくりが進んだ。

点検評価	委員評価
3	3

●家庭の教育力の向上

- 保護者支援相談員の配置
- 保護者支援アドバイザーの設置
- 保護者の一日保育者体験事業
- 子育て・親育ち講演会の開催
- 子育て支援センターの設置・充実
- ブックスタートの実施

- ① さまざまな要因で悩みを抱える子どもや保護者、教職員への教育相談やカウンセリング等、支援の充実に努めた。
- ② 子育て啓発リーフレット等を配布し、子育てについての啓発を行った。

点検評価	委員評価
3	3

●放課後の子どもの生活・学習支援の充実

- 放課後児童クラブの設置・充実（佐古小学校第二児童クラブ、野市東小学校第二児童クラブ新築工事）
- 放課後子ども教室の設置・充実

- ① 学校支援地域本部事業等により支援員を配置し、小中学校で放課後学習に取り組んだ。
- ② 子どもたちのゆとりある居場所を確保するため、望ましい放課後児童クラブや放課後子ども教室に対応する施設整備及び円滑な運営に努めた。
 - ・佐古小学校第二児童クラブ建築工事
 - ・野市東小学校第二児童クラブ建築工事
- ③ 放課後児童支援員認定資格研修（4回、6名）
指導員研修（7回、112名）

【成果】

- 年間を通して学習支援者を配置し、継続的に学習をサポートすることで、放課後の学習習慣が定着してきた。
- 研修に参加することで、職務を遂行するうえで必要な知識及び技能の習得と、その実践の基本的な考え方や心得を学ぶことができた。

点検評価	委員評価
3	3

管理執行を教育長に委任する事務に対する意見

(生きる力を育む就学前・学校教育の推進)

管理執行を教育長に委任する事務については、香南市の教育政策上特筆されるべき保幼小中連携の項目を含めて5項目について評価した。

保幼小中連携については、これまでの取り組みを生かし、地域ごとの到達段階を踏まえて適切に学校保育現場と対応し、一層推進できる体制を支援し、それぞれに進展しているし、特に重点的に取り組んでいる夜須地区の取り組み推進は昨年度同様に評価できるとともに、地理的条件から課題のあった他の地区にも配慮がなされており、今後の発展にも期待できるし、特に野市中学区では行政の特別な配慮も有り、これまでに比してかなり改善の兆しがみえる。

また、学力や、特別な支援および災害等の配慮に関しては、きめ細かい部分で現場を支援する必要がある諸項目についても、現状を踏まえて適切な対応がなされ、着実に全体的な成果を出しつつあることは評価できる。学テなど全国レベルの数値においては、地区別では、評価値が下がっている機関もあるが、これらは単年度よりも経年評価で分析すべき事項である。

また、質的データが余り取られていないので、この点では克服すべき課題がある。今後教育委員会は、学校現場が自信を持って政策を実行していけるような質的データの収集に一定の予算をつけて独自の政策課題をより具体的に実行に移すことを期待したい。

これらの項目では、長年取り組んで来た保幼小中連携政策で、特に地域の到達段階に沿ってもう少し思い切った政策を推進する余地は残されている。例えば、昨年度指摘したように、夜須地区の場合には経費をかけて高知県檜原町で行なわれているような連携のための制度を推進することが考えられる。また、災害等の対策でも学校の改築段階が目前に迫っているように見える。この点では、これまで通りの取り組みを一層進めるための活動の設定と評価項目が共にもとめられているが、これらの指摘に対する今年度の進展は評価できるような状態ではない。

これら項目上の政策立案および実施課題については、学校現場の理解を得やすくし、また得られた成果に自信を持って次年度の課題に取り組んでもらうためにも、量および質の面でデータの作成過程に実質的に移ることと、評価を政策実施項目ごとに行い、経年比較を取り入れられるよう改善すべき課題の二点が残されている。

(2) 生き生きと学ぶ生涯学習の推進

① 生涯にわたり豊かな心を育む環境づくり

重点目標

- 生涯学習の推進
- 学びの機会や場の充実
- 人権を尊重する社会を築くための教育の推進
- 文化の継承と振興
- 心豊かでたくましい子どもを育成する体験活動・読書活動の推進

[取組の概要]

●生涯学習の推進

- 市民の経験・知識等の伝承の促進
- 公民館および市民館を活動拠点とした情報システムの整備
- コーディネーター・指導者の育成および人材バンクの構築
- ボランティアの養成・活用
- 文化協会、高齢者クラブ、婦人会、子ども会の支援
- 子ども会の指導者の育成
- ジュニアリーダー研修会の開催

- ① 次世代を担う青少年の育成に資するため、各種事業で指導者育成を行った。
- ② 公民館活動の活性化を図るため、中央公民館や市民会館及び地区公民館等の連携強化に努め、市民の出会いと感動をつくる公民館づくりに努めた。
- ③ 市民の教養、情報収集の場としての図書館機能の充実を図るため、古い図書を除籍し新しい図書を配架するなど図書の充実や、開館時間の延長を実施するなど利用しやすい施設となるよう改善を行った。
- ④ 女性団体や高齢者団体等の社会教育団体との連携を図り、ボランティア活動の推進や男女共同参画社会の実現に向けた取組の強化を図った。
- ⑤ 家庭教育学級や子育て講座などの開設により、家庭の教育力向上を図るとともに社会教育諸団体と連携し、地域教育力の向上に努めた。
- ⑥ 青少年健全育成市民会議等の活動の支援を積極的に推進した。
- ⑦ 子どもの安全を守るため、地域住民による子ども見守りボランティアの育成に努めた。
- ⑧ 香南市補導センターや関係機関との連携を密にした、健全育成活動の充実に努めた。

【成果】

- 新成人による成人式実行委員会を立ち上げ、成人式を開催することができた。また、オブザーバーとして次年度の成人式の実行委員会に引き続き参加する体制づくりを進めることができた。

点検評価	委員評価
3	3

●学びの機会や場の充実

- 高齢者学級、中央生活学級の開催
- 市民のニーズを踏まえた講座等の実施
- 家庭教育の推進
- 自主文化事業の開催
- 親子体験教室、夏休みこどもスクール、趣味教養教室の開催

- ① あらゆる機会を通じて市民の学習ニーズを把握し、多様な学習機会の提供に努めた。
- ② 生涯学習社会の実現をめざし、世代に応じた魅力的な講座・教室の開催に努めた。
- ③ 学習情報の収集と提供により、いつでも、どこでも、だれでもが学習できる環境の実現に努めた。
- ④ 高齢者が生きがいを持って生活できる環境を整備するため、世代間交流や潤いとふれあいのある学習機会の提供に努めた。

【成果】

- 野市中央公民館の生活学級など各公民館で趣味教養の各種教室が実施できた。
- 野市・夜須中央公民館で実施する高齢者学級は予定どおり実施できた

点検評価	委員評価
3	3

●人権を尊重する社会を築くための教育の推進

- 香南市人権課及び香南市人権教育研究協議会との連携

- ① 人権学習や研修を通して、お互いの人権を尊重する意識の高揚に努めた。
- ② 家庭・地域や各種団体において人権を大切にする教育の啓発活動を充実するとともに、地域交流の促進に努めた。
- ③ 同和問題をはじめ障害者や高齢者、外国人、H I V感染者等の人権を守る教育を推進するため、学校や地域指導者と連携して、香南・香美子ども人権学習交流会を開催した。
- ④ こどもの権利について認識を深め、未来を担う子どもを大切にする教育を推進した。
- ⑤ 人権教育推進のために、香南市人権教育研究協議会をはじめ、人権擁護委員会等各種団体との緊密な連携に努めた。

【成果】

- 人権教育研究大会を開催し、保幼小中学校を中心に具体的な人権問題について話し合う機会を設けることができた。
- いきいきセミナーや人権フェスティバル、部落差別をなくする運動など、他課との連携により人権講演を実施し、多くの市民に学習の機会を提供することができた。

点検評価	委員評価
------	------

3	3
---	---

●文化の継承と振興

- 文化協会、文化サークル、文化祭、芸能大会の支援
- 美術展覧会の開催
- 重要文化財の安岡家住宅の改修
- 文化財センターの日曜開館(毎月1回第4日曜日)
- 保護有形文化財のパトロール
- 棒踊り保存会等の保護無形文化財の支援

- ① 文化関係団体との連携を図り、文化祭や美術展の開催、文化サークルによる発表会や展示会の実施を積極的に進め、芸術や文化の振興を図った。
- ② 子ども達に文芸に親しんでもらうため、俳句や詩の作り方教室や、岡本彌太文学賞の開催、土佐一絃琴教室を行い、同時に郷土文化の継承と情操教育の推進を図った。
- ③ 地域の文化活動を推進し、文化意識の高揚を図った。
- ④ 関係機関と連携して埋蔵文化財の発掘と保護に努めるとともに、遅れている発掘遺跡調査報告書の発刊準備をした。
- ⑤ 香南市埋蔵文化財センターにおいて、復元された出土品等を公開するとともに、遺跡の調査や公表を通じて文化財の保護意識の醸成を図った。
- ⑥ 貴重な財産である重要文化財安岡家住宅保存修理事業等の有形・無形の伝承文化の継承保存に努めるとともに、国・県・市指定文化財のマップを作成して、市民への啓発や、学校教育や生涯学習の場で有効的に活用出来るようにした。
- ⑦ 地域の史実や昔話を題材に為た紙芝居を作成し、読書活動の推進を図った。

【成果】

- 各地区で実施する文化祭・芸能大会の開催のほか、市制10周年を記念して香南市の総合文化祭を開催することとなった。
- 岡本彌太文学賞への作品応募が市内小中学校に定着してきており、児童生徒の詩・俳句の能力の向上や文学に触れる機会となっている。
- 毎年4講座を開催するいきいきセミナーも市民に定着し、平成2728年度は延べ1410人の受講者があった。美術展は市内外から多くの出品があり、良質な美術作品鑑賞の機会を提供することができた。
- 文化財マップを活用し、史跡めぐりや遺跡説明会、文化財講座など継続して企画、市内の文化財について紹介することができた。
- 夜須町の公民館事業で昔話2つが紙芝居としてできあがり、香我美町では若一王子宮の鳥喰いの儀式を題材にした紙芝居を作成し、文化協会と香南ケーブルテレビ、地元の子どもたちが一緒になって紙芝居動画を作成することができた。

点検評価	委員評価
3	3

●心豊かでたくましい子どもを育成する体験活動・読書活動の推進

- 青少年健全育成市民会議の支援

- よさこい祭りへの小学生の参加
- 本の読み聞かせグループの支援
- 読書ボランティア養成講座の開催
- 子ども司書養成講座の開催

- ① 夏休みなどを利用した親子ふれあいキャンプや、子ども会活動などの体験活動を促進した。
- ② 豊かな心を持ったたくましい子どもを育成するため、体験活動や地域間交流を推進した。
- ③ 子どもの読書活動を推進するため、読書ボランティア養成講座や子ども司書養成講座を開催し、また地域指導者の活動を支援した。
- ④ 高齢者や地域の人材を活用した、知恵と経験に学ぶ世代間交流を積極的に推進した。
- ⑤ 子どもの体験活動を推進するボランティア団体への支援を行った。
- ⑥ NPO法人みかんネット香南などとの連携により、情報通信技術の学習活動を推進した。
- ⑦ 子どもよさこい連合会による「よさこい祭り」「みなこい港祭り」等への参加

【成果】

- 各公民館で実施する夏休みの教室は定員オーバーになる状態で実施できた。青少年育成会議の実施する本部事業、各支部事業とも計画どおり実施され、盛況だった。
- よさこい祭りへの参加を通じ、他校の生徒と協力しあうことや、練習を幾度も重ねて本番で踊りを披露する達成感を子どもたちに与えることができた。
- 子ども司書養成講座は予定どおり実施でき、想定していた参加者も確保できた。

点検評価	委員評価
3	3

② 生涯にわたり親しみ高めあうスポーツの振興

重点目標
○運動・スポーツの推進
○スポーツ環境の充実

[取組の概要]

- 運動・スポーツの推進
 - 体育協会、スポーツ少年団の支援
 - スポーツ推進委員によるスポーツ活動の推進
 - 中学校招待野球大会等の香南市長杯・教育長杯事業の支援
 - 生涯スポーツ振興事業(各種スポーツ教室の開催)の推進
 - マリンスポーツ振興計画推進事業(香南市長杯龍馬カップ in Kochi、ヤ・シィカヤックマラソン等の開催、香南ジュニアヨットクラブの育成支援等)の推進

- ① NPO 法人こうなんスポーツクラブ・NPO 法人 YASU 海の駅クラブ等と連携し、ライフステージに合わせたスポーツ活動を推進するとともに、各種スポーツの普及やスポーツ教室を開催した。
- ② 地域スポーツクラブの育成を図り、各種スポーツ指導者の養成と人材の確保に努めた。
- ③ スポーツ少年団や体育協会等の活動を支援し、競技力向上を図った。
- ④ スポーツに関する情報の提供や、体育施設や学校施設の有効的な活用を図り、より身近にスポーツを感じる機会の充実に努めた。
- ⑤ ツーデーウォークを開催し、ウォーキングの楽しさを広め健康増進の意識を高めた。

【成果】

- NPO 法人と連携して行っている教室や大会はほぼ計画通りの参加者を得て実施できた。
- スポーツ少年団と体協等の活動については、活動(練習、試合)についての経済的支援(施設使用料の減免)を継続して実施した。

点検評価	委員評価
3	3

●スポーツ環境の充実

- 夜須運動広場の改修
- スポーツ施設トイレの洋便器への改修
- 各施設の老朽化に伴う維持補修

- ① スポーツ施設の改修を行う等スポーツ環境の整備を行った。
- ② 各種スポーツ大会及び地区運動会を補助し、スポーツの推進や地域コミュニティの醸成に努めた。

点検評価	委員評価
3	3

管理執行を教育長に委任する事務に対する意見 (生き生きと学ぶ生涯学習の推進)

この項目では、まずもって評価されるべきは平成26年度に教育振興基本政策に基づいて、生涯学習の政策目標が具体的に制定されたことである。審議会が機能し、政策が策定されたことは、高く評価されるべきであろう。ただし、実施プロセスに移すポイントでは評価できる状態にはない。

次に、小項目に沿って評価すると、全体として昨年度と同じ評価到達段階である。具体的に項目別で述べると、生涯にわたり豊かな心を育む環境づくりについては、次世代を担う青少年育成のためのリーダー養成講座、読書ボランティア養成講座、子ども司書養成講座の開催など地域指導者の育成に努めると共に、各公民館相互の連携を強化し、公民館活動の活性化にも取り組んだことは評価できる。

また、学校や地域指導者と連携し、香南・香美子ども人権交流合宿を開催し子どもたちの人権意識を高めたことや、俳句や詩の作り方教室、岡本弥太文学賞、土佐一弦琴教室などの実施をとおして、郷土文化の継承、情操教育の推進に努めたことは、次世代育成の姿勢を持ち、それを施策に反映した現れであり評価される。

さらには、市内の国・県・市指定文化財のマップを作成し、配布したことは、学校をはじめ、市民への啓発に大いに役立つと考えられるし、香南市民全体の文化財をみんなで誇りを持って守っていけるように有効活用されることが期待される。

次に生涯にわたり親しみ高めあうスポーツの振興については、例年取り組んでいるツーデーウォークを開催し、ウォーキングの楽しさを広めると共に、健康増進の意識を高めたことは、評価できる。

また、各種スポーツ大会及び地区運動会を補助し、スポーツの推進や地域コミュニティの醸成に努めるとともに、スポーツ施設の改修を行い、スポーツ環境の整備に努めた点も評価できる。

ただし、残された課題も多い。第一に、これまた昨年度指摘したとおり、香南市の生涯学習関係の政策立案には数値の評価が圧倒的に欠けている。これでは、客観的な評価が行ないにくいし、また経年比較をする場合に現状がどの点までの達成度か理解しにくい。

昨年度評価で指摘された最重要課題は、生涯学習を推進する母体となるべき人々の組織化が出来ていない点である。この点は、今回策定された政策に含まれているが、例年通りの状況にあり、未だ評価できる状態ではない。